

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社

コード番号 7705 URL <http://www.gls.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 森 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 高橋 良彰

TEL 03-5323-6633

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,865	△21.0	△228	—	△248	—	△244	—
21年3月期第2四半期	8,695	—	231	—	237	—	△62	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△47.70	—
21年3月期第2四半期	△11.39	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	21,035	13,821	58.1	2,381.37
21年3月期	21,421	14,290	59.1	2,455.33

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 12,216百万円 21年3月期 12,659百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	45.00	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の配当予想額につきましては、現時点において未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,827	△9.2	△58	—	△110	—	△178	—	△34.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 5,595,000株 21年3月期 5,595,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 464,831株 21年3月期 439,131株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 5,131,552株 21年3月期第2四半期 5,519,236株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年8月6日発表の連結業績予想を修正しております。上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記予想に関する事項は、添付資料の5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 配当額につきましては、依然現時点においても当社の連結業績予想の合理的な算定が困難なことから、配当予想についても見通しが非常に困難であるのが現状です。このため、当社グループの事業環境を見極めたうえで配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展やアジア向け輸出が増加に転じたことなど一部で持ち直しの動きが見られたものの、雇用不安や、所得減少の懸念が依然として強く、景気の先行きに対する不透明感は払拭しきれずに推移いたしました。

このような経営環境下におきまして、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は昨年秋口から続く世界的な半導体不況など景気悪化の影響により分析機器事業、半導体事業の売上がいずれも大きく落ち込み、グループ全体の売上高は6,865百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

損益につきましては、原価低減や諸経費の削減に努めましたが、売上高の減収に伴う売上総利益の減少をカバーするまでには至らず、前年同期に比べ大幅な落ち込みとなり、営業損失は228百万円(前年同期は営業利益231百万円)、経常損失は248百万円(前年同期は経常利益237百万円)、四半期純損失は244百万円(前年同期は四半期純損失62百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

## (分析機器事業)

分析機器事業におきましては、前期に引き続き、「イナートファミリーシリーズ」をはじめとする自社製品の拡販活動を積極的に展開しました。しかしながら、自動車・石油化学・半導体などの市場では受注回復の兆しが厳しく、また製薬関連市場では組織の統廃合が進むなど、依然として厳しい状況で推移し、計画達成までには至りませんでした。

当第2四半期会計期間(平成21年7月～9月)の売上高のうち消耗品につきましては、製薬、水質、食品などの分析に使用されるLC充填カラムや、土壌、水質の金属分析の前処理に用いられる無機消耗品及び分析前処理用の固相抽出消耗品は前年同期比からわずかに増収となりましたが、第1四半期会計期間(平成21年4月～6月)に引き続き減収となりました。

装置につきましても、水分析に利用されるアクアトレースなど固相抽出装置は伸びを示しましたが、高額なLC/MS/MSをはじめ、バイオ自社装置など全般的に需要が低迷し、第1四半期会計期間からの落ち込みもあり、当第2四半期累計期間では前年同期比大幅減となりました。

この結果、売上高は5,055百万円(前年同期比16.5%減)、営業損失は64百万円(前年同期は営業利益237百万円)となりました。

## (半導体事業)

半導体業界におきましては、昨秋以降の大幅な減産・在庫調整が一巡し、デジタル家電やパソコンなど民生用機器を中心に新興国向け需要が拡大し、主要メーカーを中心に稼働率が上昇しました。

このような環境下、当事業の受注高は比較的好調だった第1四半期の流れを引継ぎ、当第2四半期会計期間では1,175百万円(前年同期比18.6%増)、第2四半期累計期間では1,947百万円(前年同期比1.4%減)と昨年とほぼ同水準にまで回復しました。

第2四半期会計期間での売上は石英製品が580百万円(前年同期比31.7%減)となりましたが、シリコン製品がアジア地域からの受注が好調に推移し285百万円(前年同期比34.1%増)と伸び、903百万円(前年同期比20.4%減)と直前の四半期(4月～6月)との比較では49.2%の増収となり、8月、9月の2カ月単月では営業損益で黒字転換しました。

この結果、売上高は1,470百万円(前年同期比35.3%減)、営業損失は175百万円(前年同期は営業損失9百万円)となりました。

### (自動認識事業)

自動認識事業の大きな販売市場である警備機器業界においては、官公庁や民間企業での情報漏えい対策やアクセス管理強化などのニーズに多様なサービスの提供が求められる一方、警備機器市場の競争激化などから、厳しい経営環境が続きました。

このような中で、デバイス部門では、マンションやオフィスなど共同施設の出入り口を警備・監視するシステムとしてコンパクトな壁埋込型リーダライタ「XR10シリーズ」を販売し売上を伸ばすことができました。

システム部門では、前年に入退室コントローラ「XRC100シリーズ」のプロジェクトを立ち上げ引き続き新規市場拡販戦略に努め、受注は回復傾向を示しましたが、大型物件の減少などにより第2四半期会計期間では前年同期を下回りました。

この結果、売上高は339百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は9百万円(前年同期比93.6%増)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べ386百万円減少し21,035百万円となりました。負債は、短期借入金の増加などにより、82百万円増加し7,214百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の減少などにより、468百万円減少し13,821百万円となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末の1,649百万円から119百万円増加し1,768百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額587百万円、仕入債務の減少額268百万円などにより、641百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出293百万円などにより、618百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額753百万円、長期借入金の返済による支出387百万円などにより、97百万円の収入となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年8月6日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳しくは、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループのテクノクオーツ株式会社には、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他会社の経営に重要な影響を及ぼす事象が存在していません。

このため、前事業年度では希望退職者を募る等の固定費削減を実施するとともに、資金繰りでは当事業年度の年間売上計画に基づく必要額を銀行借入により調達済みであります。

当第2四半期累計期間における業績において、受注は前年同期とほぼ同水準まで回復し、それに伴い売上高も増加傾向に転じました。

その結果、営業損益は8月、9月と2ヶ月連続して黒字を確保しましたが、第2四半期累計期間(6ヶ月)では営業損失が継続しています。売上高の実績累計は1,508百万円と期初売上計画(4月～9月は930百万円)を大幅に上回り、見直し後の資金繰り計画においても、今後一年間は安定した状態を保てる見通しであります。

また、財務面からはテクノクオーツ株式会社に対する当社の支援体制は不変でありますので、同社は継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないものと考えております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,617,211	3,148,967
受取手形及び売掛金	4,348,121	4,928,237
商品及び製品	1,093,190	1,254,827
仕掛品	1,220,767	1,182,286
原材料及び貯蔵品	1,073,286	1,177,039
その他	273,941	271,953
貸倒引当金	△12,017	△14,174
流動資産合計	11,614,500	11,949,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,022,831	2,893,799
土地	3,300,421	3,300,421
その他（純額）	1,713,110	1,864,665
有形固定資産合計	8,036,364	8,058,887
無形固定資産		
	90,836	92,843
投資その他の資産		
その他	1,325,390	1,352,292
貸倒引当金	△31,209	△31,169
投資その他の資産合計	1,294,180	1,321,122
固定資産合計	9,421,381	9,472,852
資産合計	21,035,881	21,421,990

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754,902	2,043,892
短期借入金	2,604,040	1,871,165
未払法人税等	26,893	144,976
賞与引当金	254,253	322,436
その他	360,423	320,806
流動負債合計	5,000,513	4,703,276
固定負債		
長期借入金	1,429,447	1,797,887
退職給付引当金	105,313	66,745
役員退職慰労引当金	234,678	237,163
負ののれん	4,429	4,990
その他	439,909	321,455
固定負債合計	2,213,777	2,428,243
負債合計	7,214,290	7,131,519
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,819,711	1,819,711
利益剰余金	10,123,022	10,599,796
自己株式	△508,890	△481,812
株主資本合計	12,641,638	13,145,491
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,054	△93,211
繰延ヘッジ損益	△75,721	△13,094
土地再評価差額金	△346,316	△346,316
為替換算調整勘定	8,274	△33,484
評価・換算差額等合計	△424,818	△486,106
少数株主持分	1,604,770	1,631,086
純資産合計	13,821,590	14,290,471
負債純資産合計	21,035,881	21,421,990

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,695,736	6,865,376
売上原価	6,073,357	4,810,147
売上総利益	2,622,379	2,055,228
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	701,629	699,729
賞与引当金繰入額	172,841	134,418
貸倒引当金繰入額	1,780	—
退職給付引当金繰入額	37,346	85,720
役員退職慰労引当金繰入額	9,667	9,859
その他	1,467,734	1,353,555
販売費及び一般管理費合計	2,390,998	2,283,284
営業利益又は営業損失(△)	231,380	△228,055
営業外収益		
受取利息	3,710	3,868
受取配当金	9,264	3,896
為替差益	—	13,153
為替予約評価益	32,042	—
負ののれん償却額	61	561
受取保険金	20,090	23,591
助成金収入	—	15,532
持分法による投資利益	—	3,203
その他	14,492	9,040
営業外収益合計	79,662	72,847
営業外費用		
支払利息	34,665	31,241
為替差損	21,513	—
為替予約評価損	—	52,960
持分法による投資損失	5,143	—
その他	11,907	8,943
営業外費用合計	73,228	93,145
経常利益又は経常損失(△)	237,814	△248,353
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,157
特別利益合計	—	2,157
特別損失		
固定資産売却損	256	—
固定資産除却損	1,610	4,356
投資有価証券売却損	115	—
投資有価証券評価損	15,578	96,112
たな卸資産評価損	273,272	—
割増退職金	—	3,142
その他	2,000	1,000
特別損失合計	292,833	104,611
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,019	△350,807

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
法人税、住民税及び事業税	84,233	12,563
法人税等調整額	31,723	△64,855
法人税等合計	115,957	△52,292
少数株主損失(△)	△108,100	△53,754
四半期純損失(△)	△62,876	△244,760

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,019	△350,807
減価償却費	380,487	354,710
負ののれん償却額	△61	△561
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,613	△68,183
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,773	△2,116
受取利息及び受取配当金	△12,974	△7,764
支払利息	34,665	31,241
割増退職金	—	3,142
売上債権の増減額(△は増加)	570,478	587,971
たな卸資産の増減額(△は増加)	401,860	242,378
仕入債務の増減額(△は減少)	△226,863	△268,150
その他	△95,574	277,469
小計	994,158	799,330
利息及び配当金の受取額	11,852	6,374
利息の支払額	△34,364	△31,069
割増退職金の支払額	—	△3,142
法人税等の支払額	△163,683	△130,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	807,962	641,359
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△716,500	△1,146,214
定期預金の払戻による収入	736,390	796,999
有形固定資産の取得による支出	△482,593	△293,037
有形固定資産の売却による収入	267	—
無形固定資産の取得による支出	△5,930	△9,662
投資有価証券の取得による支出	△4,646	△4,523
投資有価証券の売却による収入	1,118	—
貸付けによる支出	△2,000	△3,500
貸付金の回収による収入	7,372	3,037
その他	△788	38,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467,311	△618,440
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	194,200	753,832
長期借入れによる収入	495,000	—
長期借入金の返済による支出	△416,982	△387,377
自己株式の取得による支出	△66,444	△27,078
リース債務の返済による支出	—	△9,731
配当金の支払額	△249,899	△231,402
少数株主への配当金の支払額	△26,749	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,875	97,879
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,696	△1,769
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	283,471	119,028
現金及び現金同等物の期首残高	1,163,580	1,649,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,447,052	1,768,680

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

(単位：千円)

	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	6,054,936	2,272,987	367,813	8,695,736	—	8,695,736
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	132	52,610	—	52,742	(52,742)	—
計	6,055,068	2,325,597	367,813	8,748,479	(52,742)	8,695,736
営業利益又は営業損失(△)	237,412	△9,862	4,888	232,438	(1,057)	231,380

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

(単位：千円)

	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,055,055	1,470,967	339,353	6,865,376	—	6,865,376
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4	37,628	—	37,632	(37,632)	—
計	5,055,059	1,508,596	339,353	6,903,009	(37,632)	6,865,376
営業利益又は営業損失(△)	△ 64,037	△ 175,650	9,465	△ 230,222	2,167	△ 228,055

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

(単位：千円)

	北 米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	467,935	340,627	178,115	986,678
II 連結売上高	—	—	—	8,695,736
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.4	3.9	2.0	11.3

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

(単位：千円)

	北 米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	335,864	563,524	126,513	1,025,902
II 連結売上高	—	—	—	6,865,376
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.9	8.2	1.8	14.9

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。